

科目名	解 剖 学	科目分類	□基礎教育科目 ■専門教育科目
			■卒業必修 ■栄養士必修 □選択
英文表記	Anatomy	開講年次	■ 1 年 □ 2 年
ふりがな	ひろ かわ ただ お	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当教員名	廣 川 忠 男	授業形態・修得単位	講義・2単位
授業のテーマ	人体諸器官の解剖学的特徴について理解する。		
授業概要	生体の基本単位は細胞であり、細胞の機能分化によって組織や器官そして器官系が成り立っている。解剖学は人体を構成する体の仕組みを細胞から器官レベルについて探求するもので、生命科学の基礎となる重要な領域である。本講では 人体を各系統ごとに、それらを構成する各器官の形態と構造について解説し、基礎的な人体解剖学の概念を十分に理解できるように努めていきたい。		
到達目標	人体および各種器官系の構造上の特徴を理解し、各部の名称を覚えるとともに説明できる。		
授業時間外の学習	授業の前にテキストの関連ページを通読し、よく理解できない事項を整理して臨むこと。生理学・生化学・病態生理学などとの関連性を意識して学習すること。常に復習を心がけ、わからない部分は図書館等で調べたり、教員に質問するなどして理解に努めること。		
履修条件	基礎教育科目の「生物学」と併せて受講することが望ましい。		
授業計画			
第1回	テーマ：人体の大要 (解剖学的正位/面/体幹/体肢/位置関係)		
第2回	テーマ：骨格系 (形状と構造/硬骨と軟骨/主要骨格/骨の連結)		
第3回	テーマ：筋組織 (分類と特徴/主要骨格筋/平滑筋/咀嚼筋)		
第4回	テーマ：神経系(1) (中枢神経系の分類/脳/脊髄)		
第5回	テーマ：神経系(2) (末梢神経系の分類/体性神経/自律神経)		
第6回	テーマ：血液の組成 (血球/血漿/血液型/白血球抗原/体液)		
第7回	テーマ：循環器系 (心臓の構造/体循環/肺循環/胎児循環/血管/リンパ系器官)		
第8回	テーマ：免疫系 (胸腺/骨髄/リンパ球)		
第9回	テーマ：消化器系(1) (口腔/咽頭/食道/胃)		
第10回	テーマ：消化器系(2) (小腸/大腸/肝臓/膵臓)		
第11回	テーマ：呼吸器系 (喉頭/気管/気管支/肺泡/肺/胸膈)		
第12回	テーマ：泌尿器系 (腎臓/尿管/膀胱/尿道/ネフロン)		
第13回	テーマ：内分泌系 (視床下部/下垂体/甲状腺/上皮小体/膵臓/副腎/性腺/消化管)		
第14回	テーマ：生殖系 (精巣/精巣上体/精管/乳腺/卵巣/卵管/子宮)		
第15回	テーマ：特殊感覚器 (視覚/聴覚/平衡覚/味覚/嗅覚)		
第16回	定期試験		
テキスト	山本敏行ほか：「新しい解剖生理学(改訂第12版)」南江堂 2010 (生理学と共通テキスト)		
参考文献・資料	講義の中で適宜紹介する。		
成績評価の方法	定期試験により評価する。		
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)		
オフィスアワー	1年生：月曜日、16:20～18:00、 2年生：水曜日、16:20～18:00		
受講生に望むこと	毎回の出席カードで質問を受け付けるので、疑問点・理解できない点は遠慮なく質問すること。授業には積極的な姿勢で臨んでほしい。講義回数の3分の1を超えて欠席した者は、期末試験の受験資格を失うので注意のこと。		